

2025年3月期第1四半期決算説明資料 (2024年4月1日～2024年6月30日)

株式会社ベネフィットジャパン (証券コード：3934)

目次

I. 会社紹介

II. 2025年3月期第1四半期決算ハイライト

III. 業績推移

IV. 2025年3月期通期計画の進捗

I .会社紹介

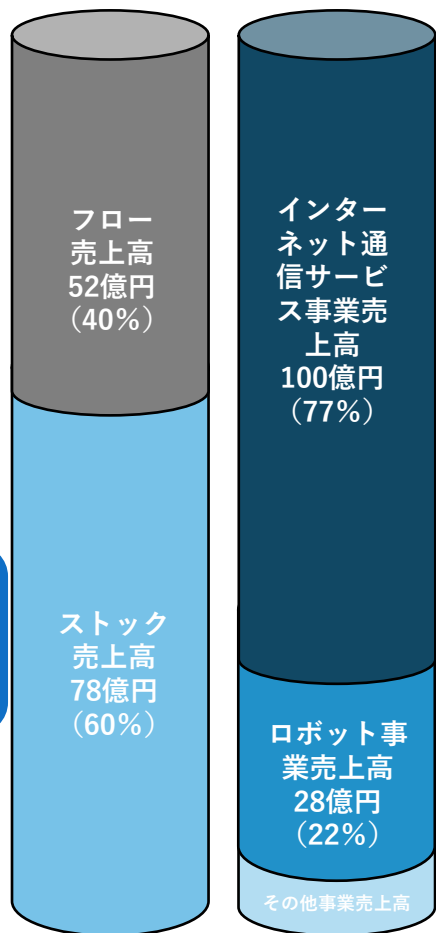
ビジョン

通信事業（MVNO）の安定成長を軸に新たなテクノロジーの価値を届けます。



事業紹介

安定的なストック売上高を強みに、多様な通信サービスを多岐にわたるルートで提供しています。



2024年3月期連結売上高
(130億円)

保有回線数
約25万回線

インターネット通信サービス事業

ONLYMobile

モバイルWi-Fi及び
カスタマイズプラン

NETAGE

レンタルWi-Fi

MVNE

MVNE事業

ONLYSIM

1年及び短期のプリ
ペイドSIM

eSIM.love

eSIM関連の情報発信
メディアプラット
フォーム

ロボット事業

家庭用コミュニケーションロボットを展開

国内トップ
クラスの
売上高

ONLYROBO
コミュニケーションロボット



当社オリジナルモデルの
chat GPTを搭載したコ
ミュニケーションロボット
とSIMカードのパッケージ
販売

Robot Planet

「新しい家族に出あえる」
をコンセプトにしたロボッ
トショップ

RoBoHoN
ゼミナール

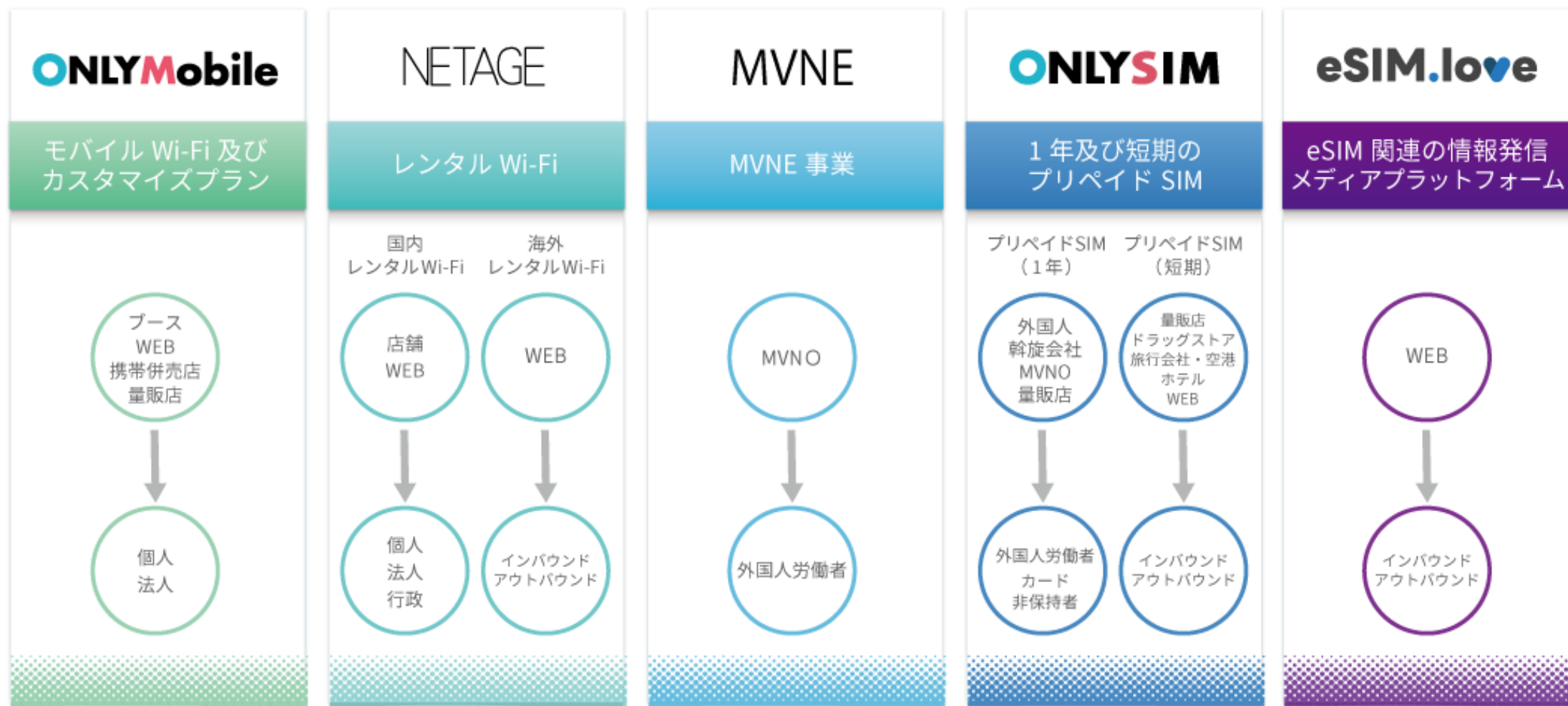
オーナー会員に対しロボホ
ンの使い方を学べるコンテ
ンツを配信

Robot closet

ロボホンのかわいい洋服を
取り扱うオンラインストア

インターネット通信サービス事業

既存事業であるモバイルWi-Fiの販売及びレンタル、MVNE等に加え、SIMカードの販売の拡大を図り、多様な通信サービスを多岐にわたるルートで展開しています。



ロボット事業

認知から体験・販売、購入後の楽しみ方やオーナー同士の情報共有まで展開。生成AIの発展により、ロボットの会話は今後さらに高度化が見込まれ、少子高齢化に対応するサービスを展開しています。



ONLYROBO
コミュニケーションロボット

コミュニケーションロボットと
SIMカードのパッケージ販売



重要な機能の追加
Powered by
ChatGPT



全国各地で地方CMを放送
SNS (Instagram、LINE)、
ウェブ広告など

01 認知



Robot Planet

「新しい家族に出あえる」を
コンセプトにした
ロボットショップ

02 体験・販売



オーナー会員に対し
ロボホンの使い方を
学べるコンテンツを配信

03 楽しむ



フォトコンテスト、
オーナー会などを開催

04 共有

事業成長の歩み

市場環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、成長を継続しています。

携帯電話
サービスの
自由化

マルチメディア関連
機器の販売を目的と
して、株式会社ベネ
フィットジャパンを
設立

電気通信
事業の規制
緩和

MVNO事業開始
(Docomo回線を
ONLYMobileサービ
スとして提供)

MVNOとしてモバイ
ル型ロボット「ロボ
ホン」提供開始

シャープ株式会社と
の協働による当社オ
リジナルモデル
「ONLYROBO ロボ
ホンプレミアム」
提供開始

新型コロナ
5類感染症
に移行

インバウンド及び外
国人労働者に対する
プリペイドSIM提供
開始

株式会社エーユー、
株式会社ツーカーセ
ルラーの1次代理店
資格を取得

ソフトバンク株式会
社の一次代理店資格
を取得、データー
カードの加入取次を
開始

東京証券取引所
マザーズ市場へ上場

東京証券取引所市場
第一部へ市場変更

コミュニケー
ションロボッ
ト市場の拡大

インバウ
ンド、外国人
労働者増加

東京証券取引所プラ
イム市場に上場区分
を変更

東京証券取引所スタ
ンダード市場に上場
区分を変更

1996年

1998年

2001年

2009年

2014年

2016年

2016年

2018年

2019年

2022年

2023年

2023年

II .2025年3月期第1四半期決算ハイライト

2025年3月期決算ハイライト（第1四半期）

全社

- 1.売上高は、**3,006百万円**（前年同期比 Δ 6.9%）
- 2.契約回線数は、過去最高**247,600回線**（前年同期末比+8.6%）
- 3.経常利益は、**221百万円**（前年同期比+6.1%）

インターネット通信サービス事業

- 1.売上高は、**2,403百万円**（前年同期比 Δ 4.7%）
- 2.契約回線数は、**219,300回線**（前年同期末比+7.6%）
- 3.営業利益は、**456百万円**（前年同期比+24.9%）

ロボット事業

- 1.売上高は、**550百万円**（前年同期比 Δ 15.2%）
- 2.契約回線数は、**28,200回線**（前年同期末比+16.5%）
- 3.営業利益は、 **Δ 104百万円**（前年同期 Δ 44百万円）

連結損益計算書（第1四半期）

(百万円)

	24年3月期 第1四半期		25年3月期 第1四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期 比増減率	前年同期 比増減額
売上高	3,228	100.0%	3,006	100.0%	△6.9%	△221
売上原価	1,418	43.9%	1,256	41.8%	△11.4%	△162
売上総利益	1,810	56.1%	1,750	58.2%	△3.3%	△59
販管費	1,602	49.6%	1,530	50.9%	△4.5%	△71
営業利益	207	6.4%	219	7.3%	+5.8%	+12
経常利益	208	6.5%	221	7.4%	+6.1%	+12
親会社株主に帰属する 四半期純利益	138	4.3%	142	4.7%	+3.3%	+4

セグメント別業績（第1四半期）

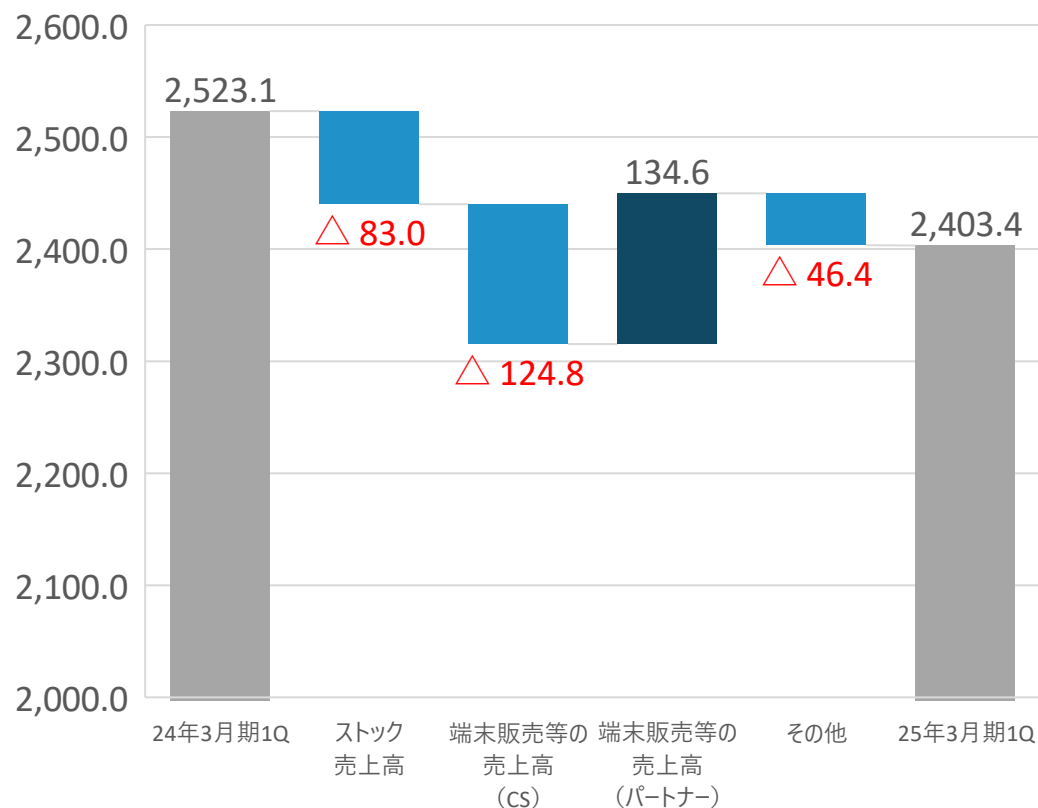
(百万円)

	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
売上高	3,228.7	3,006.9	△6.9%	△221.7
インターネット 通信サービス	2,523.1	2,403.4	△4.7%	△119.6
ロボット	648.6	550.1	△15.2%	△98.4
その他	56.9	53.3	△6.3%	△3.6
営業利益	207.6	219.7	+5.8%	+12.0
インターネット 通信サービス	365.1	456.1	+24.9%	+90.9
ロボット	△44.0	△104.4	-	△60.3
その他	10.5	10.9	+3.8%	+0.3
全社費用	△123.8	△142.7	-	△18.8

インターネット通信サービス事業増減分析（第1四半期）

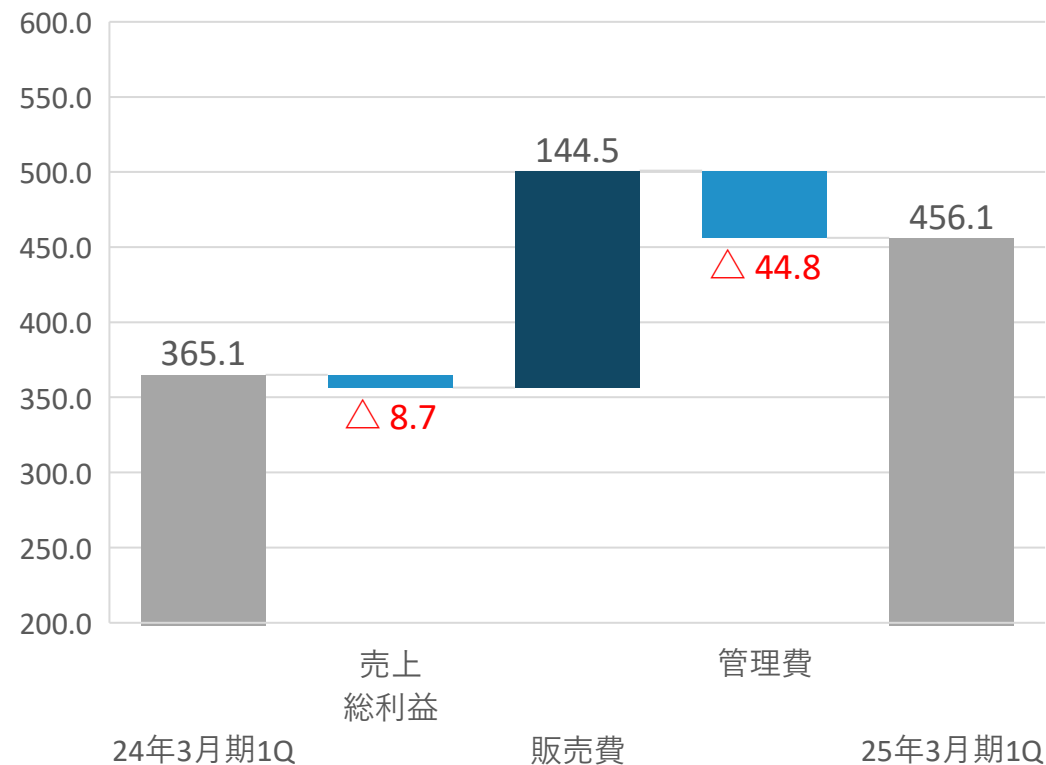
インバウンド、外国人労働者向けインターネット通信サービスを拡充し生産効率の低いCS販路によるモバイルWi-Fiの販売を縮小しパートナー販路を強化しました。その結果契約回線数は219,300回線と前年同期末比7.6%増となりましたがARPU（1契約当たりの月額平均収入）の高いモバイルWi-Fi回線の比率が減少したことでストック売上が微減しました。一方で販売人員の移動による組織再編により販売費効率化したことで増益となりました。

売上高分析



(百万円)
CS=コミュニケーションセールス

営業利益分析

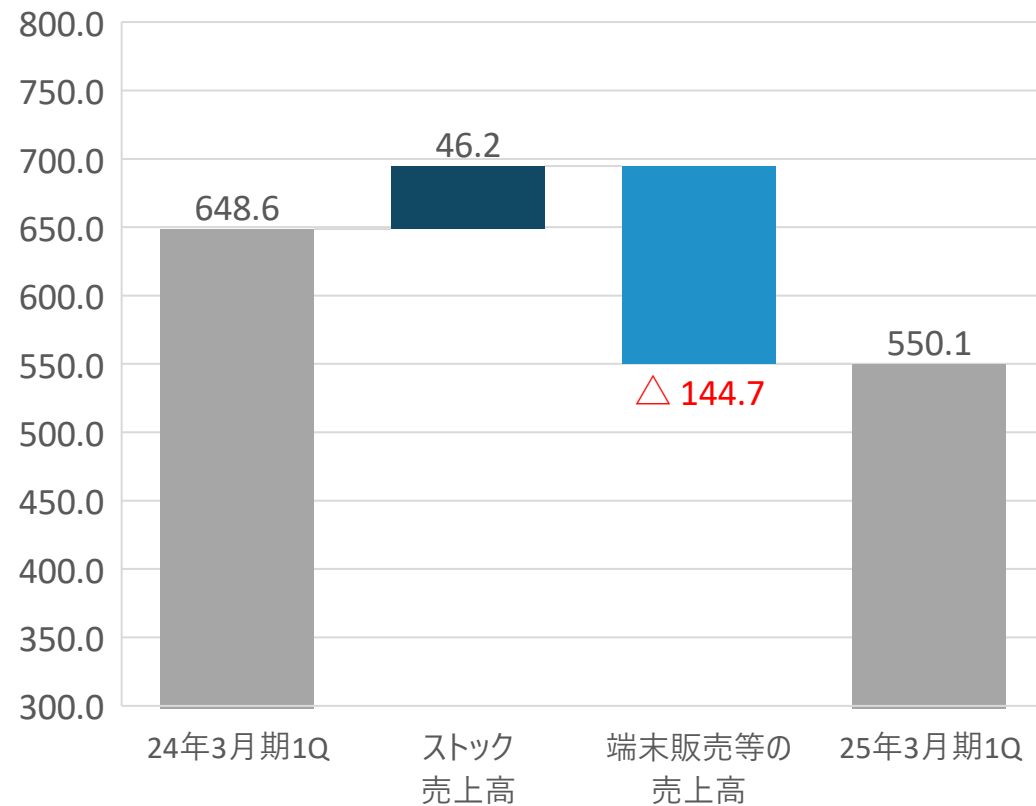


(百万円)

ロボット事業増減分析（第1四半期）

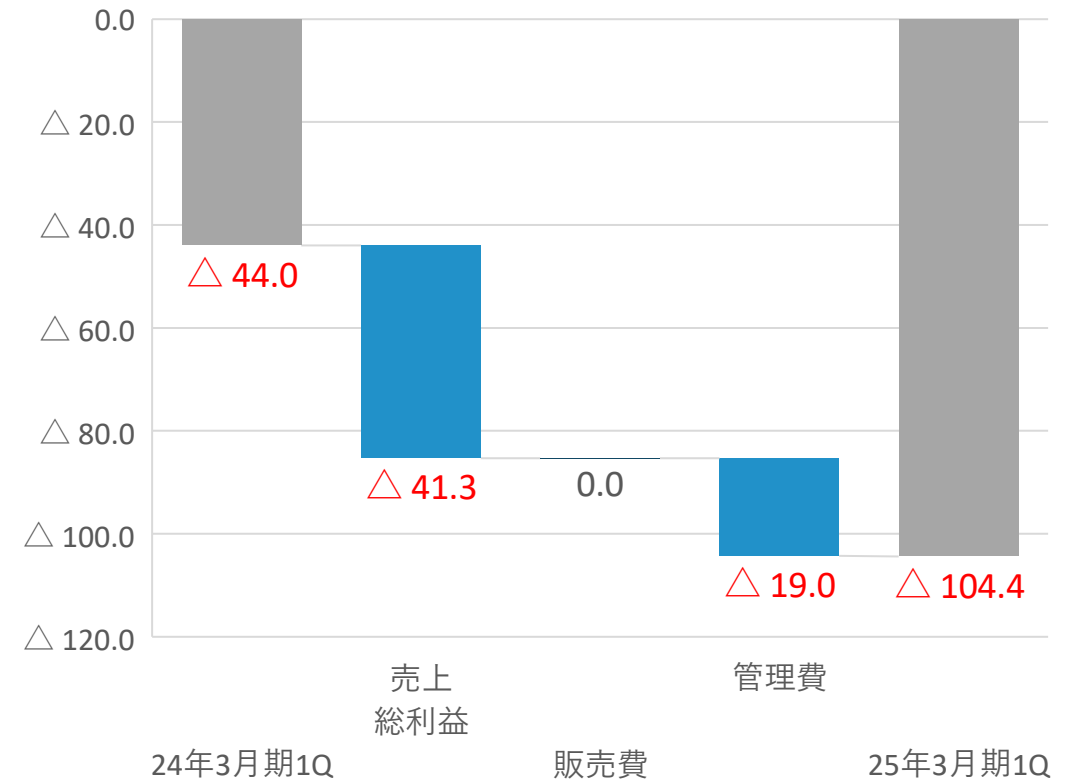
全体的な販路の見直しにより、販売人員の異動による組織再編によって新規獲得件数が減少したため減収減益となりましたが、カスタマーサポートの充実を図り保有顧客である契約回線数は28,200回線と前年同期末比で16.5%増となりました。ARPUも微増しストック売上は順調に推移しています。

売上高分析



(百万円)

営業利益分析

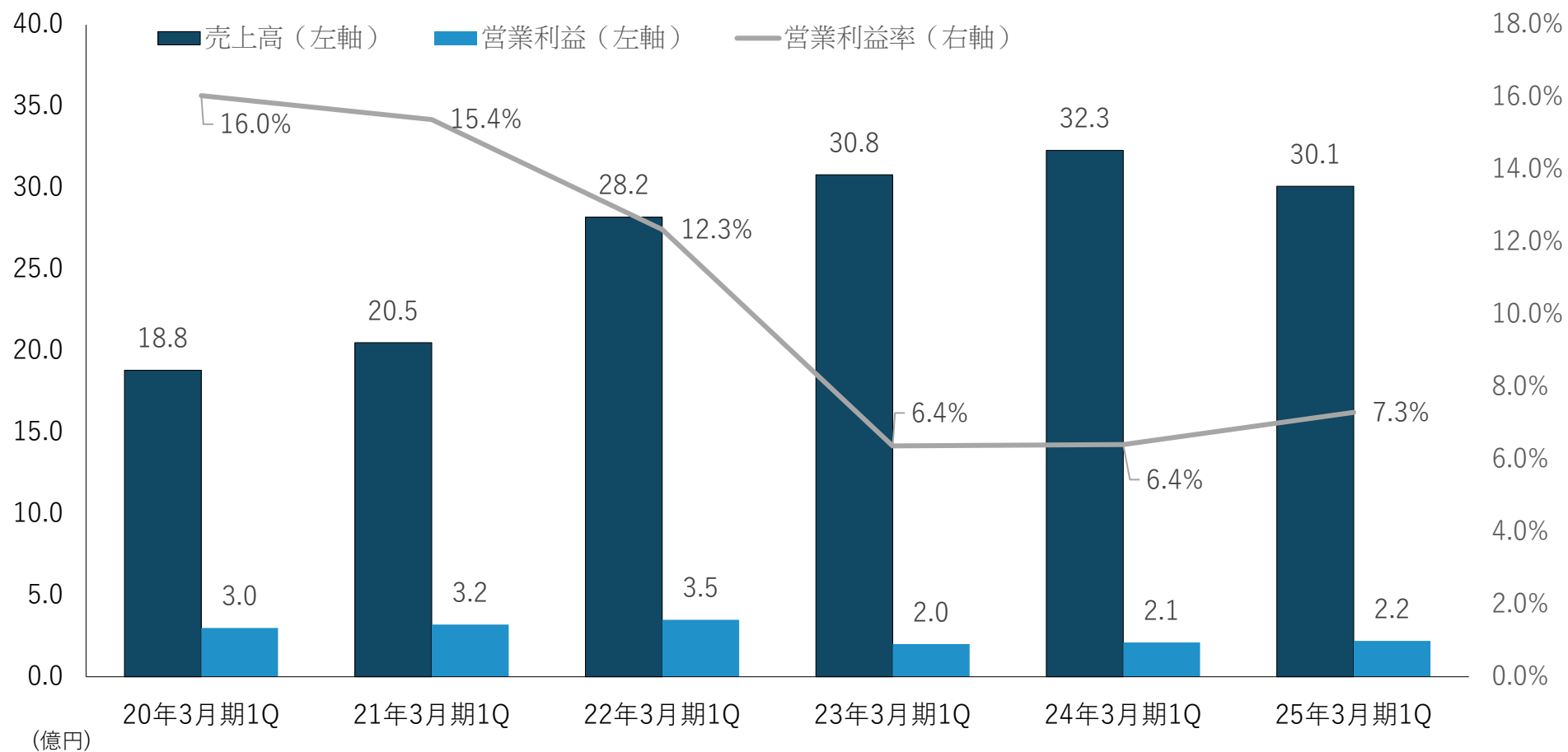


(百万円)

III.業績推移

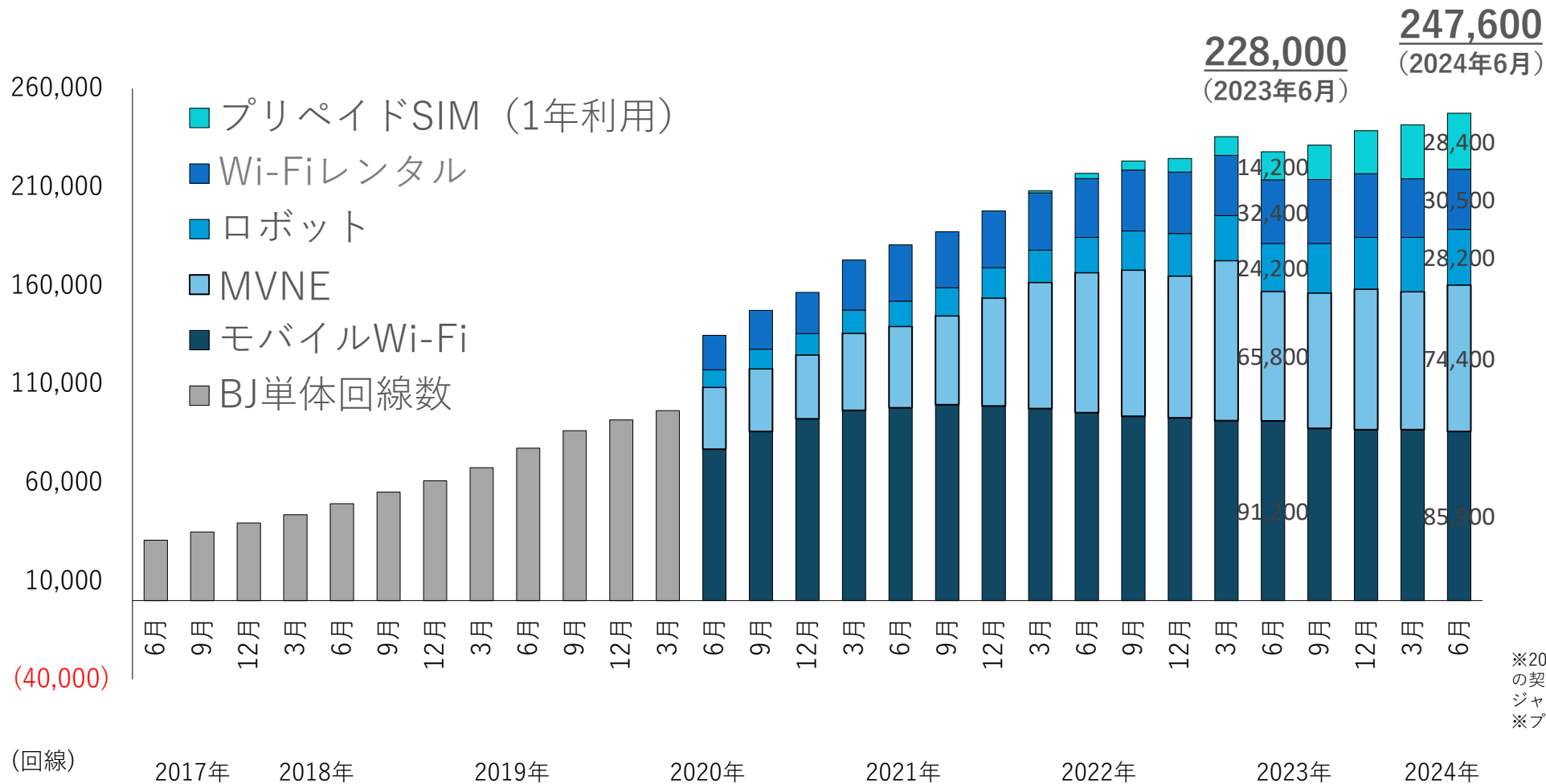
連結売上高及び営業利益推移（第1四半期）

売上高は減少したものの、営業利益及び営業利益率は増加しました。



契約回線数の推移

回線数は、247,600回線（前年同期末比+8.6%）、ロボットは、28,200回線（前年同期末比+16.5%）
 プリペイドSIM（1年利用）は、28,400回線（前年同期末比+99.6%）となりました。



※2020年3月までは、ベネフィットジャパン単体の契約回線数。2020年6月以降は、ベネフィットジャングループの契約回線数（区分）
 ※プリペイドSIMの基準を変更しています

IV.2025年3月期通期計画の進捗

2025年3月期の連結業績予想に対する進捗

(百万円)

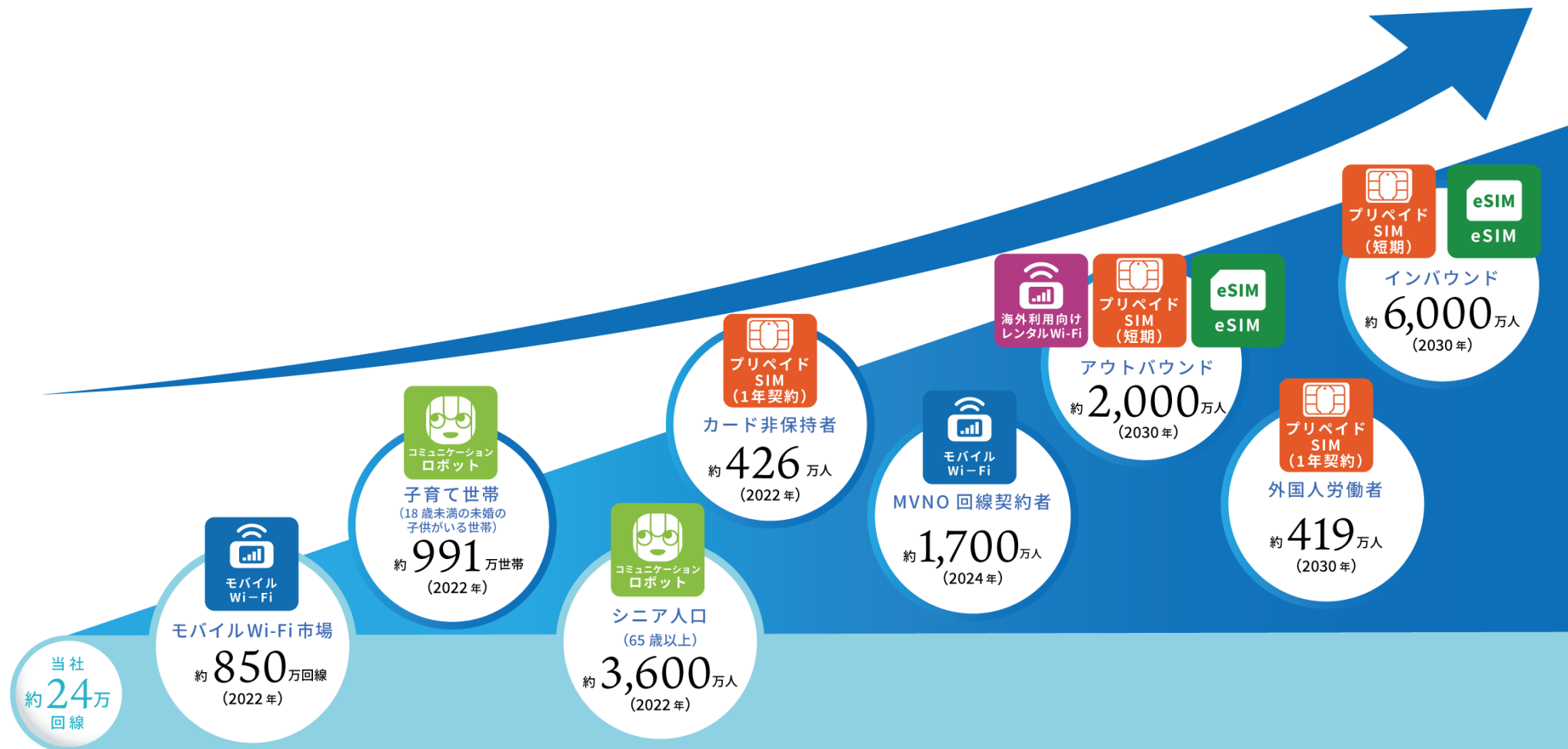
	25年3月期		進捗率
	通期計画	第1四半期	
売上高	12,503	3,006	24.0%
営業利益	1,085	219	20.2%
経常利益	1,090	221	20.3%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	725	142	19.7%

※通期計画の変更はありません

参考情報

中期経営方針 (23年5月10日発表済み)

24年3月期から既存事業領域である若者層中心のモバイルWi-Fi市場、シニア層中心のコミュニケーションロボット市場に加え、新規事業領域としてコミュニケーションロボットの進化による子育て世帯、プリペイドSIMによるインバウンド、外国人労働者等の領域拡大



中期経営方針 (23年5月10日発表済み)

24年3月期から既存販路である大手商業施設、大手量販店等の優良販路に加え、大手販路を面として抑え、多様な通信サービスを多岐にわたるルートで提供



新たな成長に向け、点モデルから面モデルへの転換

会社概要



BENEFIT JAPAN Co.,Ltd.
株式会社ベネフィットジャパン

設立	1996（平成8）年6月6日
代表取締役	佐久間 寛（さくま ひろし）
本社	大阪市中央区
上場市場	東証スタンダード
証券コード	3934
業種	情報通信業
事業内容	インターネット通信サービス事業、 ロボット事業、その他事業
連結売上高	13,065百万円（2024年3月期）
連結経常利益	900百万円（2024年3月期）
資本金	656百万円（2024年3月末）
グループ全体 従業員数	327名（2024年4月時点）
子会社	(株)モバイル・プランニング (株)ライフスタイルウォーター

強み

当社の強みは、20年以上のキャリアを通じて10,000店舗を超える販売ネットワークを構築し、累計120万人の新規顧客を開拓してきた「コミュニケーションセールス」を核に、大手量販店等の優良販路、価格競争力のある仕入れ、信用力等



数字で見るベネフィットジャパン

安定的なストック売上高、自己資本、保有契約回線数を基礎に、コミュニケーションロボット、プリペイドSIM等成長事業に投資

連結売上高

7期連続増収
131億円

(2024年3月期)

ストック売上高

売上高構成比60%
78億円

(2024年3月期)

コミュニケーション
ロボット事業売上高

国内トップクラス
28億円

(2024年3月期)

連結経常利益

9億円

(2024年3月期)

自己資本

72億円

(2024年3月末)

自己資本比率

64.7%

(2024年3月末)

ROE

10.6%

(2024年3月期)

従業員数

327名

(2024年4月)

拠点

販売ネットワーク
10,000店舗超

(2024年3月末)

保有契約回線数

インターネット通信
約25万回線

(2024年6月)

免責事項

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ベネフィットジャパン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

本発表において掲載されている情報の中には、資料作成時において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

投資をおこなう際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

Benefit of Technology to All People!